

「つながり」が「つながって」いく - 水海道教会ボランティアセンター

統括主任 飯塚拓也

水海道教会の加藤久幸牧師より連絡が入ったのが、2015年9月11日(金)の午前6時45分でした。すでに雨はあがりつつありましたので、大丈夫だろうと勝手に判断していましたが、常総市では大水が押し寄せ甚大な被害を与えたのでした。

翌12日(土)夕方に、水が引いた知らせを受けてすぐに常総市に入り、水海道教会に加藤牧師を訪ねました。そして、翌13日(日)の午後に、福島純雄茨城地区長と共に水海道教会を訪ね、同席の茨城地区の有志の牧師と、「水海道教会ボランティアセンター」を設置しました。福島茨城地区長が委員長となり、私が統括主任となりました。関東教区のホームページ等を通してボランティアの呼び掛けを行い、遠方からのボランティアへの宿泊場所として、竜ヶ崎教会を提供することとしました。

ボランティアとしては、被災した教会とこども園の清掃と片付けにはじまり、教会員や園の関係者宅への支援に取り組みましたが、ボランティアの区切りとなった11月7日までの間に、延べ460名のボランティアを受け入れることができ、竜ヶ崎教会での宿泊者も90名弱となりました。時期的にまだ暑い時期でしたのでボランティアの皆さまには本当に汗をかいていただきましたが、ボランティアに入ったお宅の中には、床板をはがしてもぐりこみ、這いつくばりながら泥を掻き出す作業にあたっていただきました。また、作業の合間にその宅の方との会話を大事にし、いろいろな思いを吐露していただけたことは、教会が行うボランティアとして大切なことと確認させていただきました。

今回教えられたことは、「つながり」が「つながっていく」ということです。震災後、いち早く駆けつけてくださった方々がおられます。兵庫から、新潟から、仙台から、です。そう、かつて大きな被災をされた方々が、ご自身の体験をもとに動いてくださるのです。YMCAの協力も感謝でした。ボランティアの半数以上が、今までの体験をもとに水海道教会につながってくださいました。

「わたしにつながっていなさい」の現実化を体験させていただき、心から感謝いたします。

○「水海道教会被災支援募金」会計報告

「水海道教会被災支援募金」会計報告		(2015. 9. 16～2016. 3. 31)	(単位：円)
収入の部		支出の部	
・水害募金	17,434,665	・水海道教会・こども園見舞金	12,000,000
教区内 教会・伝道所・学校・ 幼児施設・団体・個人	3,222,841	・被災信徒宅・関係者宅 見舞金(15件)	610,000
他教区 他教派 海外		・ボランティアセンター費用	340,000
教区・教会・伝道所・学校・ 幼児施設・団体・個人	14,211,824	・被災支援ニュース発行費用	10,020
		・募金関係諸費	158,032
		・事務費(領収はがき・送金手数料)	126,724
収入計	17,434,665	支出計	13,244,776
		見舞金送金準備金	4,189,889
合計	17,434,665	合計	17,434,665

多大の祈りとお支えを感謝いたします。水海道教会とこども園では、水害への復旧のために献金を使用し、こども園では行政の補助の及ばない部分や、洪水につかった園児の備品や園バス車両対応に用いさせていいただいています。なお、こども園の新園舎建築にはこの募金は使用されず、補助金を除く自己負担分については銀行等の借入で新園舎建築は進められていることを加えて報告させていただきます。

加藤牧師の報告にありましたように、今後水海道教会の牧師館の復興が始められます。このために、「水海道教会被災支援募金」は継続いたしますので、どうか引き続きご協力いただければ幸いです。

【募金先口座】…郵便振替・00140-3-67727「日本基督教団関東教区」

***摘要欄に「水海道教会被災支援募金」とご記入ください。**